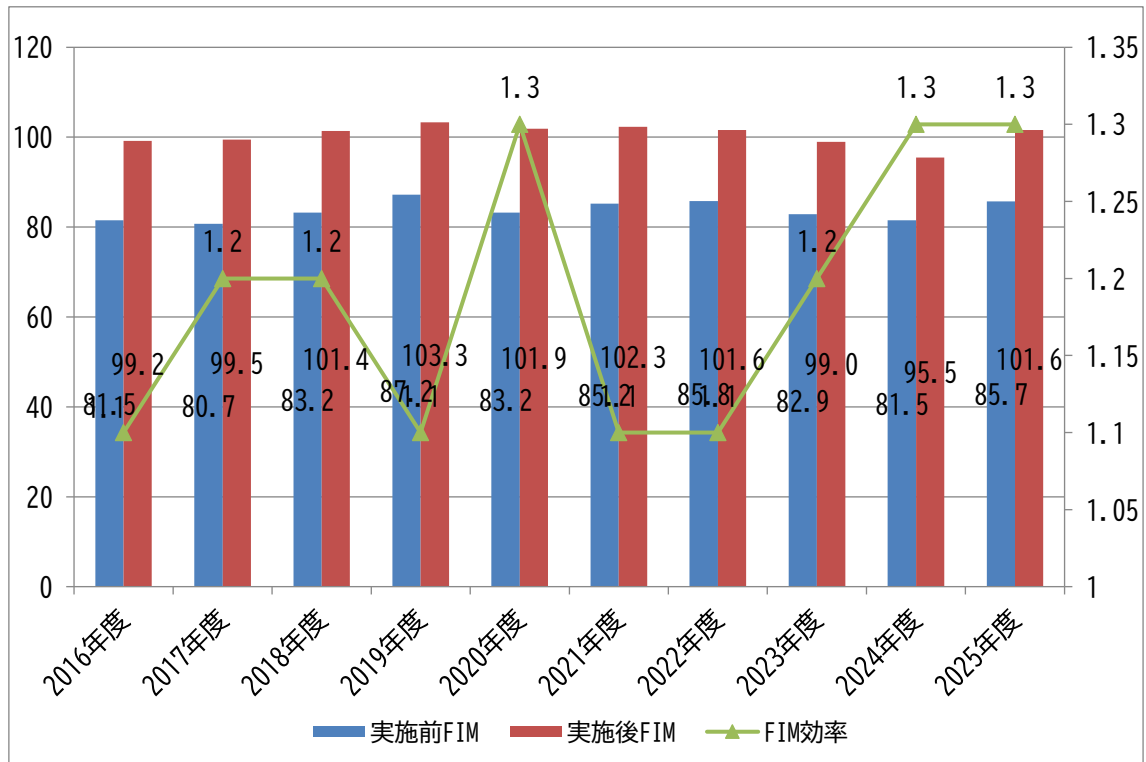


リハビリテーション実施前の FIM、実施後の FIM、FIM 効率



リハビリテーション実施前と実施後の FIM^{※1} の点数の推移と FIM 効率^{※2} を示す。

2025 年度の FIM 利得^{※3} は 15.8 点、FIM 効率は 1.3 であり、FIM 効率は 1.1～1.3 を推移しており、安定したリハビリテーション効果が確保されている。今後も、より高いリハビリテーション効果の実現に向けて、スタッフの専門性向上と質の高い臨床教育に注力していく。

※1 FIM：Functional Independence Measure、機能的自立度評価表

最も臨床で使用されている日常生活活動の評価表

※2 FIM 効率：(退院時 FIM-入院時 FIM) /入院日数

日常生活がどの程度改善したかの指標であり、点数が高いほどリハビリの効率が低いことを示す。

※3 FIM 利得：退院時 FIM-入院時 FIM

データ提供 リハビリテーション部